

2015.3.12 11:28

千葉・銚子市長が公選法違反容疑で書類送検 平成25年の市長選で自己に有利な記事掲載

千葉県銚子市の越川信一市長（53）が平成25年の市長選に絡み、社長を務めていた日刊紙「大衆日報」で自身に有利になる記事を掲載したとして、千葉県警に公職選挙法違反の疑いで書類送検されていたことが12日、県警への取材で分かった。書類送検は10日付。市民が26年、県警に告発していた。

越川市長は取材に対し「対立候補の主張もバランスを取って多数掲載されていた。疑いをかけられるようなことはない」と話した。

県警などによると、書類送検容疑は25年、市長選に当選するために社長の立場を利用し、新聞で自身の政策を詳しく報じるなどして公正な選挙を妨げたとしている。

越川市長は25年3月末まで大衆日報社の社長を務め、同年4月の市長選で現職を約700票差で破り初当選した。